治療スケジュール

F-23

*レジメン名	BV(10mg/kg)+FOLFIRI療法(14日間)(大腸)
*投与量・投与日	レボホリナート200mg/㎡ d1、 イリノテカン150mg/㎡ d1、 5Fu400mg/㎡ d1、 5Fu2400mg/㎡ d1、 ﾍﾞﾊﾞｼｽﾞﾏﾌﾞ10mg/kg d1

2012.8.3.

*手技	癌	*薬品名・*用法・コメント・*休薬完了	*数量	*単位	点滴時間・点滴速度	d(1)	d(14)	d( )	d( )
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		ロック用生食	10	mL		○			
		1日1回							
		開始時 CVポートフラッシュ							
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		生理食塩液	50	mL	15分	○			
		デキサート注射液	4.95	mg		○			
		グラニセトロン静注液 1mg	1	A		○			
		1日1回							
		メイン①							
		点滴開始時アプレピタントカプセル服用							
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		生理食塩液	100	mL	90分	○			
	☆	ベバシズマブBS点滴静注	10	mg/kg		○			
		インフュージョンリアクション認めなければ次回より60分に短縮可							
		それ以降、30分投与とすることができる							
		1日1回							
		メイン②							
		無菌製剤処理料1							
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		生理食塩液	50	mL	15分	○			
		1日1回							
		メイン③ 流し							
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		5%ブドウ糖注	250	mL	2時間	○			
		レボホリナート点滴注	200	mg/㎡		○			
		1日1回							
		側管④							
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		5%ブドウ糖注	250	mL	90分	○			
	☆	イリノテカン注	150	mg/㎡		○			
		1日1回							
		メイン④ 側管④と併流							
		無菌製剤処理料1							
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		生理食塩液	50	mL	5分	○			
	☆	フルオロウラシル注	400	mg/㎡		○			
		1日1回							
		メイン⑤							
		無菌製剤処理料1							
抗悪性腫瘍剤局所持続注入		生理食塩液	100	mL	46時間 3.7mL/h	○			
	☆	フルオロウラシル注	2400	mg/㎡		○			
		1日1回							
		全量140mLに。(トレフューザー typeT)							
		メイン⑥							
		無菌製剤処理料1							
		携帯型ディスポーザブル注入ポンプ(化学療法用)							
		休薬完了					●		
		以下別オーダー							
内服		アプレピタントCap	125	mg	d1				
		1日1回 1本目の点滴開始時							
内服		アプレピタントCap	80	mg	d2,3				
		1日1回 朝食後							